

ここまでの交渉経過を振り返りましょう！

【第2回交渉 要求の根拠 を簡単にまとめると…】

- 組合：「安全安定輸送に努め、鉄道貨物輸送の社会的責任を果たしてきた。
会社の経営計画未達を理由に手当抑制は決して許さない。
物価高騰に追い付けていない0.1%のベア、若年退職、行き届かない
女性設備…モチベーションの低下を食い止めるため、手当で還元を！」
- 会社：「若年退職について会社も重く受け止めている。生活給は否定しないが、
コロナ禍や雪害による大幅な減収により黒字確保が厳しい状況である。」

【第3回交渉 会社の考え を簡単にまとめると…】

- 会社：「コロナ禍、ウクライナ情勢、山陽線脱線事故に北日本での寒波や福島県
沖地震など、昨年度は大幅な収入減。2022年度も現状19億円の赤字
で厳しい状況である。若年退職は他企業に比べれば低い水準である。」
- 組合：「昨冬の水準では話にならない。会社の求める生産性向上は、これ以上
どうしろというのか？株主と省庁の板挟みで大変だというが、職場はそれ
以上に大変なことを本当にわかっているのか？職場から目を逸らすな！」

**言い訳ばかりの会社は手当抑制姿勢を断固として
崩しません。多くのFAXで切実な声をぶつけよう！**